

令和8年8月8日

地区代表者各位

福岡県剣道連盟杖道部
会 長 福田 博文
＜公印省略＞

杖道講習会及び級審査開催について

拝啓 時下益々ご精励のこととお慶び申し上げます。

さて、杖道講習会及び級審査について、下記要領で実施いたします。

つきましては、会員各位への周知と多数のご参加をお願いいたします。 敬具

記

1. 日 時 令和8年9月13日（日）
9時受付 9時30分開始
2. 場 所 久留米総合スポーツセンター（久留米アリーナ）板張武道場
福岡県久留米市東櫛原町 2282-1 電話 0942-39-7371
3. 内 容 ・全日本剣道連盟杖道の講習、8月開催中央講習会の伝達講習
・杖道級審査
・称号認定講習（対象者のみ）
4. 講 師 範士八段 神代 孝一 範士八段 福田 博文
（他、中央講習会参加者からお手伝いとして2名程選任予定）
5. 申込要領
(1)講習会……「講習会参加申込書」にて申込みのこと。
参加料 大人 1,000 円 中学生以下 500円
(2) 1～3級審査申込……「級審査申込書」にて申込みのこと。
登録料……1,000 円
級位受験の資格については別表（裏面）のとおり
級の審査は『実技審査』のみを下記の要領で行う。
一級：全剣連杖道の礼法及び基本の単独動作3本、**全剣連杖道3本**
（「仕」・「打」交代して行う）
二級：全剣連杖道、太刀の礼法、持ち方、構え方、構えの解き方、
基本の単独動作3本
三級：全剣連杖道、杖の礼法、姿勢、構え方、基本の単独動作3本
6. 申込期日 令和8年9月4日（金）まで
7. 申 込 先 杖道部事務局 まで
注）「講習会」申込は、郵送又は下記メールアドレスへお願いします。
「級」の申込は、郵送にてお願いします。

（裏面あり）

(別 表)

杖道級位受審の資格（福岡県剣道連盟杖道級位審査規程）

級 位	級位受審の資格
一 級	二級受有後 6 ヶ月以上の杖道修練を要する。 高校一年生（相当年齢を含む。）以上の者は一級審査から受審することができる。
二 級	三級受有後 6 ヶ月以上の杖道修練を要する。
三 級	6 ヶ月以上の杖道を修練した小学校五年生以上の者

※級審査開始時間：午後 1 時から実施

※服 装

- (1) 講習会及び審査会参加者は、稽古着・袴とする。
- (2) 参加者は、左胸部に名札を付けること。
黒または紺色の剣道着の場合は、黒または紺色の布地に白字とし、白色の剣道着の場合は、白地に黒字とする。

福 岡
木
村

※称号認定講習会受講料（対象者のみ）

錬士：3,100円 教士：5,200円 を別途納入お願いします。（福剣連へ納入）

称号受審要件として錬士は1回、教士は2回の認定講習受講が原則と定められています。

<安全対策>

- ・全剣連「感染予防ガイドライン」を確認のうえ講習会参加をお願いします。
- ・当日に発熱・風邪のような症状がある場合は参加を控えてください。

以上

連絡先 杖道部事務局 伊橋 慶
819-0025 福岡市西区石丸3-16-27
FAX 092-891-0273(携)090-9401-0670
(メール) syoubukan@outlook.jp

■杖道 3 級、2 級実施要領 ○印：立会の号令 ◆印（受審者の動作、立会が適時補助する）

1. 3 級審査

1) 杖の礼法、姿勢、構え方

- ◆：杖を右手に持ち「常の構え」で審査開始位置まで進む、立会は誘導する
- ：受験番号と受験する級位 ◆：○番、三級
- ：「正面に礼」 ◆：30度の礼をし、常の構えに戻る
- ：「相互に礼」 ◆：15度の礼をし、常の構えに戻る
- ：「本手に構え」 ◆：右足を出して本手に構える
- ：「もとえ、元の位置」 ◆：左足を右足に揃えて常の構えになり、左足から一步もどる
- ：「逆手に構え」 ◆：右足を出して逆手に構える
- ：「もとえ、元の位置」 ◆：本手に持ち替え、左足を右足に揃えて常の構えになり、左足から一步もどる
- ：引落に構え ◆：左足を出して引落に構える
- ：「もとえ、元の位置」 ◆：杖を右手に持ち、右足を左足に揃えて常の構えになり、左足から一步もどる

2) 基本の単独動作 3 本（本手打、逆手打、引落打）、立会の号令に従う

- ：「本手に構え、本手打用意、始め」 ◆：本手打を 4 回行う
- ：「止め、もとえ、元の位置」
- ◆：「止め」で相手の目につけ、「もとえ」で常の構えになり、「元の位置」でそのままの姿勢で後方元の位置まで下がる
- ：「逆手に構え、逆手打用意、始め」 ◆：逆手打を 4 回行う
- ：「止め、もとえ、元の位置」
- ◆：「止め」で本手に持ち替え相手の目につけ、「もとえ」で常の構えになり、「元の位置」でそのままの姿勢で後方元の位置まで下がる
- ：「引落に構え、引落打始め」 ◆：引落打を 4 回行う
- ：「止め、もとえ、元の位置」
- ◆：「止め」で相手の目につけ、「もとえ」で常の構えになり、「元の位置」でそのままの姿勢で後方元の位置まで下がる
- ：「退場」 ◆：そのままの姿勢で 2、3 歩下がり退場する

2. 2 級審査

1) 太刀の礼法、持ち方、構え方、構えの解き方

- ◆：太刀と杖を両手に持って審査開始位置まで進む、立会は誘導する
- ：受験番号と受験する級位 ◆：○番、2 級
- ：準備をしてください ◆：後方に下がり、杖をおいて太刀をもって開始位置まで進む（提刀姿勢）
- ：「正面に礼」 ◆：30度の礼をする
- ：「相互に礼」 ◆：15度の礼をし、太刀を左手に持ち替えて携刀姿勢となる
- ：「中段に構え」 ◆：右足を出し、中段に構える
- ：「諸手左上段に構え」 ◆：中段の構えから左足を出して、諸手左上段に構える
- ：「もとえ」 ◆：諸手左上段から左足を引いて、中段の構えに戻る
- ：「八相に構え」 ◆：中段の構えから左足を出して、八相に構える
- ：「もとえ」 ◆：八相の構えから左足を引いて、中段の構えに戻る
- ：「構えを解け」 ◆：自然に相手（想定）の左膝頭から約 3～6 センチ下、右斜め下に下げる、剣先は上から見て相手の体からわずかに外す
- ：「太刀は納め」 ◆：携刀姿勢になり足を揃える
- ：「相互に礼」 ◆：右手に持ち替え携刀姿勢となり、15度の礼をする
- ：「杖に持ち替えて下さい」 ◆：下がって太刀から杖に持ち替え、開始位置に進む

2) 基本の単独動作 3 本（本手打、逆手打、引落打）、立会の号令に従う
（3 級審査と同様）